

令和4年コウナゴ曳網調査結果 NO.6

令和4年2月15日
福島県水産海洋研究センター

調査方法

- ・ 関係漁協の協力により、2月10日に相馬海域、2月12日にいわき海域で漁船によるコウナゴ調査を行いました。
- ・ 相馬海域の調査点は北緯37°48'、東経141°0'～141°7.5'の4点です。沖側の調査点4カ所は、海象の影響により中止となりました。
いわき海域の調査点は北緯36°55'、東経140°55'～141°12.5'の8点です。
- ・ 丸稚ネットで10m深付近(一番灘の定点は表層)を5分間曳網しました。

結果

- ・ 相馬海域ではコウナゴが2尾採捕されました(図1)。全長は9.0mmと5.9mmでした。
- ・ 相馬海域の表層水温は7.9～9.1℃で、例年並みの傾向を示しました(図1)。
- ・ いわき海域ではコウナゴは採捕されませんでした(図2)。
- ・ 表層水温はいわき海域で8.6～11.0℃と、例年より低めの傾向を示しました(図2)。
- ・ 相馬海域、いわき海域ともにコウナゴの採捕尾数は低調でした(図3)。

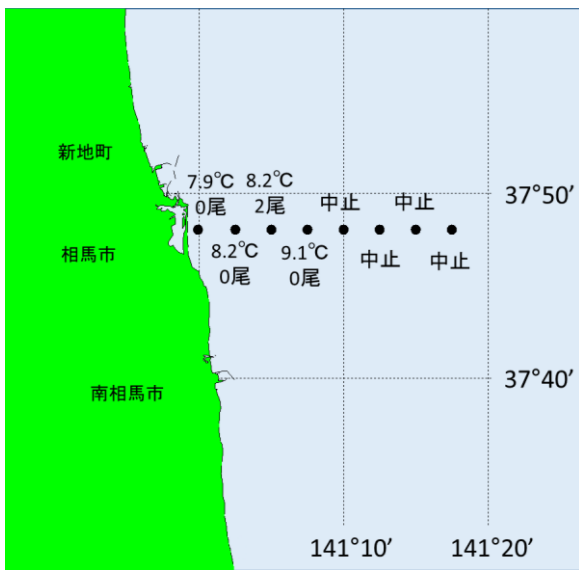


図1 コウナゴ採捕尾数(相馬)

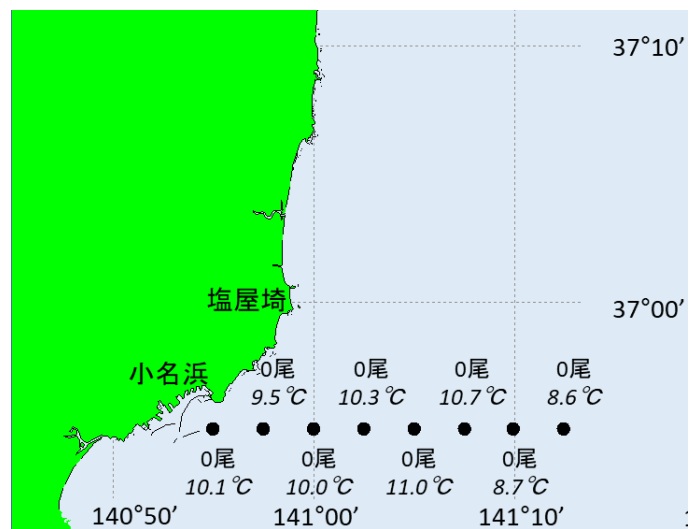


図2 コウナゴ採捕尾数(いわき)

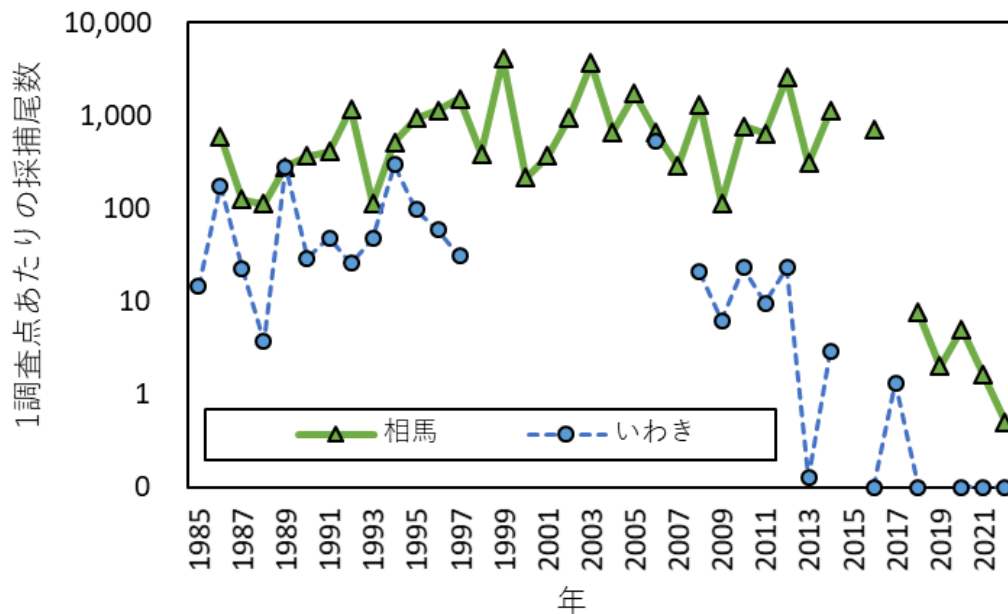


図3 丸稚ネットによるコウナゴ採捕尾数の年推移
(1～2月の平均値)

丸稚ネット

丸稚ネットの構造は以下の模式図のとおりです。各調査地点において、曳網船速 1.5 ノット程度で 5 分間曳網しております。

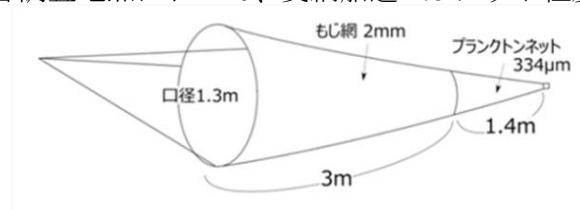


図4 丸稚ネットの模式図

福島県水産海洋研究センターホームページにてカラーの画像を掲載しています
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/kounago.html>